

こうげわくわく 子ども探検隊V



探検隊Vの任務
子どもたちには与えられた任務は、上毛町の探検。テーマに沿って子どもたちは4日間、さまざまな体験をします。そしてこれらの体験を通じて発見した宝を地図にマークし、最終日に発表します。

わくわく子ども探検隊とは？

21世紀を担う子どもたちが町の自然や歴史文化、産業、福祉など、さまざまな分野で活躍する地域の人たちと出会い、ふれあうことで、町の魅力や課題を考える機会を作り出すことを目的としています。町と社会福祉協議会が主催し、今年で5回目の開催となります。今回は、西吉富地区にスポットをあてて開催し、町内の各小学校から31名の子どもたちが参加しました。

1 目

知ってみよう

普段、何気なく生活していると、身近なことでも意外と知らないことが多いものです。自分たちの暮らす上毛町を知り、まちの宝を自慢できるように、歴史や施設見学を行いました。

レクリエーション

西吉富の方々と交流しながら緊張をほぐす。7月30日(火)、探検隊初日、げんきの杜に集合しました。4つの班に分かれた子どもたちは、それぞれ自己紹介をし、班長と副班長を決めました。その後、初めて顔を合わせた子どもたちの緊張をほぐすためにレクリエーションを行いました。1班は尻高地区の方々と、2〜4班は、八ッ並地区の方々と楽しみながら交流を深めました。

町の紹介

「誇りあるまち」「こうげまち」を知る。「上毛町ってどんなまち？」「みなさんはどう思いますか？」そんな投げかけをしながら、観光ガイドブック「上毛の宝」とスライドを使用して、子どもたちと一緒に町の自慢(自然・文化・おいしいもの)など。そして、それらを継承する地域の人材について考えてみました。

西吉富の歴史を学ぶ

宝探しの舞台を知る。今回宝探しの舞台となる西吉富の歴史を知るため、歴史民俗資料館に場所を移動し、文化財係職員から矢方池や覚円寺など西吉富地域の歴史について、紙芝居を使ってわかりやすく教えてもらいました。また、2014年放送の大河ドラマが、戦国時代に活躍した武将・黒田官兵衛の生涯を描く「軍師官兵衛」に決定したことにならんで、西吉富の日熊城で行われた「日熊城の戦い」などについて学びました。

特別養護老人ホーム「安雲拓心苑」見学

高齢者福祉の現状を知る。「安雲拓心苑」を見学し、職員の方から施設の概要についての説明がありました。見学を通じて、施設で働いている人、施設を利用している人と触れ合い、子どもたちは高齢者福祉の現状を感じることができました。また、働いている人たちが笑顔で高齢者のお世話をしている姿や自分の家と変わらない生活ができるように心がけていることなど、施設の様子や質問したことをメモしていました。施設見学の後、子どもたちは入所者の方と話しよにかき氷を食べたりして交流しました。子どもたちとふれあうと、お年寄りの方々は笑顔が溢れていました。

2 目

体験してみよう

西吉富で活躍するあらゆる分野の方々が先生となって、いろんな体験をしました。体験を通じて、まちの宝(人・自然・歴史など)を身をもって感じました。

そば打ち体験

地域の方々の技を学ぶ。8月8日(木)、安雲地区を中心に高齢者の見守り活動や安全パトロールなど、地域づくり活動を展開する「オーイげんき会」の方たちの指導のもと「そば打ち」を体験しました。始めに代表の渡辺さんからそばの作り方についての説明があり、早速作業に取りかかりました。子どもたちは、そば粉と小麦粉に水を混ぜ合わせ、少しずつそばを練っていきました。腕まくりをして必死に練る子どもたちにはオーイげんき会の指導にも熱が入り、上手に生地ができました。次は麺棒で均一に伸ばしていく作業。力が入る作業でしたが、上手に生地を伸ばし、最後に麺を切りました。昼食は、みんなで頑張ったそばと安雲のお米を使ったおにぎり、会員自家製の漬け物をいただきました。「いただきます」の発声の後、すぐに「おいしい」の歓声が連発でした。

西吉富史跡めぐり 西吉富の歴史や史跡を学ぶ

午後は、歴史・文化を体験するため、文化財係の塩濱さん、佐藤さんの説明を受けながら西吉富の史跡を探検しました。今回探検したのは、矢方池、覚円寺、緒方城跡、大ノ瀬官衙遺跡などです。矢方池では、自分の全財産をかけて池を造った「高橋庄蔵さん」のお話を聞きました。福岡県指定の文化財である木造薬師如来座像のある覚円寺では、明治時代に西友枝の松尾山からここに運ばれてきたお話を聞きました。子どもたちは、熱心に観察し、説明を記録していました。

